



『空の色と光の図鑑』

斎藤文一 (文)/武田康男 (写真)
草思社, 1995年10月, 184頁, 2900円

都会で生活しているとゆっくり空を眺める機会があまりない。それでも仕事の終わる頃ビルの窓からきれいな夕焼けが見えるとその色彩の美しさにしばし見とれてしまったり、雨上がりの空に虹がかかっているのを発見すると周囲の人にも教えたい衝動にかられる。身近な夕焼けや虹をはじめとして、空には美しい色彩をもつ現象や珍しい現象がさまざまに現れ人の心を魅了する。本書はこうした大気光学現象を広く扱っており、その姿を的確にとらえたカラー写真で示しながらあわせてその原理をわかりやすく解説した一般読者向けの図書である。冗長になるが、本書を正確に紹介するため目次に出ている全ての内容を次に記す。

1. 空はなぜさまざまな色をあらわすのか

青空, 【基礎知識1】空気分子による光の散乱(レイリー散乱), 朝の薄明(東の空), 【コラム1】人鷹が見た「かぎろひ」とは何か, 薄明(西の空)と地球影, 夕の薄明(西の空), 火山噴火後の朝焼けと夕焼け, 雲の色, 【基礎知識2】水滴や塵などの粒子による光の散乱, 朝焼け雲と夕焼け雲, さまざまな霧の色, 火映

2. 太陽の光はどのように変わるのか

朝日と夕日, 光芒(放射状の光線), 山影, 日の入り, つぶれた形の太陽, 【基礎知識3】大気差とは何か, ワイングラス型の太陽, 【コラム2】日本列島でいちばん初日の出が早いのはどこか, グリーン・フラッシュ

3. さまざまな蜃気楼はどのようにしてできるのか

下に映る蜃気楼(上冷下暖の蜃気楼), 【基礎知識4】蜃気楼とはどういうものか1「上冷下暖」の場合, 上にのびる蜃気楼(上暖下冷の蜃気楼), 【基礎知識5】蜃気楼とはどういうものか2「上暖下冷」とファタ・モルガナ, 浮島現象と2つの太陽, 【コラム3】「狐火」とはどういうものか

4. 虹はなぜあのような形と色をあらわすのか

主虹, 副虹, 【基礎知識6】水滴の中で光はど

のように進むのか, 過剰虹, 【コラム4】虹はかつて竜や蛇だと信じられていた, 時雨虹, いろいろな虹, 【コラム5】「白虹日を買く」とはどういうことか

5. なぜ太陽や月のまわりに光の輪や暈があらわれるのか

光環(光冠, コロナ), 【基礎知識7】粒子による光の回折と「ビショップの環」, 光輪(グローリー), ブロッキンの妖怪, 【コラム6】ゲートはブロッキン山で何を見たか, 暈(ハロ), 【基礎知識8】氷の結晶のなかで光はどのように進むか, 幻日, 環天頂アーク, 太陽柱, 彩雲, ダイヤモンド・ダスト

6. さまざまな稲妻はどのようにつくられるか

落雷, 【基礎知識9】雷の電気はどうしてできるか, 空を走る稲妻, 【コラム8】「セント・エルモの火」とはどういうものか, 幕電, 【コラム9】「火の玉」とはどういうものか, 【コラム10】「地震発光」とは何か

7. オーロラや大気光はどのように光るのか

縞状のオーロラ, カーテン状や帯状のオーロラ, コロナ状とその他のオーロラ, 【基礎知識10】オーロラはどうしてできるか, 低緯度オーロラ, 大気光, 黄道光, 【基礎知識11】大気光とはどういうものか

付章 夜空の色や光のスカイ・ショウを楽しもう

太陽コロナ/太陽プロミネンス, 皆既日食時の空の色, 満月/皆既月食/地球照, 星の見え方(カノープス), オリオン座/天の川, 金星/ハレー彗星, 流星/人工衛星, 薄明と夜景と星

各章の終わりには「観測ガイド」があり、読者が自ら観測する際に参考となる事項が記載されている。

本書の最大の特長は完成度の高い写真にあるといえる。これらの写真を撮影した武田康男さんは日本気象学会の会員であり、空の光の現象を10数年にわたって撮り続けてきたそうである。私は富士山測候所や南極昭和基地で勤務しており、さまざまや大気気象やオーロラを撮影した経験があるが、こうした被写体を写す難しさを幾度となく痛感させられてきた。本書の写真のほとんどを1人で、それも高校で教鞭を執るかたわら休日を利用して撮影してきた武田さんの努力は並大抵ではなかっただろう。本書の印刷は質が高く、ぱらぱらとページをめくって鮮やかな写真を眺めるだけでも十分に楽しめる。また、カラー図版を多用した解説

も分かりやすく読みやすい。大気光象に興味を持って 景写真の愛好者にとっても役に立つ1冊である。
 いる人をはじめ、気象を教えている人、また山岳・風 (東京管区気象台技術部技術課 小池仁治)

日本気象学会および関連学会行事予定

行事名	開催年月日	主催団体等	場所	備考
日本気象学会 1996年度春季大会	1996年 5月21日 ～23日	日本気象学会	大宮ソニックシティ (埼玉県大宮市)	気象学会大宮96事務局 (東京大学海洋研究所海洋気象部門) Tel. 03-5351-6523 Fax. 03-3377-3395
月例会「第40回山の気象シンポジウム」	1996年 6月15日	日本気象学会	専修大学付属高校梅田記念館 (東京都杉並区)	山の気象研究会 高橋 博 〒183 東京都府中市西原町4-22-1
日本水文科学会 1996年度学術大会	1996年 6月15日 ～16日	日本水文科学会	駒沢大学文学部 (東京都世田谷区)	事務局 筑波大学地球科学系 杉田倫明 Tel. 0298-53-2537
日本農業気象学会 1996年度全国大会	1996年 7月29日 ～31日	日本農業気象学会 (日本生物環境調節学会と合同開催)	宇部全日空ホテル (山口県宇部市)	山口大学農学部 谷 宏 Tel. 0839-22-6111(内424) Fax. 0839-22-6607
第19回国際理論・応用力学会議	1996年 8月25日 ～31日	International Union of Theoretical and Applied Mechanics (IUTAM)	国立京都国際会館 (京都市)	事務局 渡邊英一 Tel. 075-753-5079
日本気象学会 1996年度秋季大会	1996年11月 6日 ～ 8日	日本気象学会	名古屋国際会議場 (名古屋市)	日本気象学会中部支部 Tel. 052-751-5123 Fax. 052-762-1242
第14回風工学シンポジウム	1996年12月 4日 ～ 6日	日本学術会議 災害工学研究連絡委員会	日本学術会議講堂 (東京都港区)	第14回風工学シンポジウム 運営委員会事務局 (社団法人電気学会調査課) Tel. 03-3201-0983 Fax. 03-3201-1983
第2回アジア数値流体力学会議	1996年12月15日 ～18日	東京大学工学系研究科 日本数値流体力学会	東京大学山上会館	東京大学工学系研究科航空宇宙工学専攻 鈴木宏二郎 Tel. 03-3812-2111 (内6600, 6575) Fax. 03-3818-7493